

ISO/TC20/SC9「航空貨物および地上設備」

国際会議に出席して

～航空貨物機材・地上機材・航空機除雪関連の標準化～

1. はじめに

ISO (International Organization for Standardization) の航空関連専門委員会である ISO/TC20「航空機および宇宙機」の分科会の一つである SC9「航空貨物および地上機材」の第40回総会が11月3日～5日の3日間にわたり Canada の Montreal にある IATA の Office で行われたので報告する。

2. 背景と構成

本SC9は航空機貨物機材（航空コンテナ・航空貨物運送用パレットおよびそれに使用されるネット・固縛用ストラップ類・金具類、強度要件等）や航空機をハンドリングするための地上機材（旅客搭乗用ブリッジ・ステップ車両・貨物搭載機材・給水／汚水車両・空港のランプ場での航空機整備機材等）の標準化を行っている。

ISO TC20/SC9は、IATAのULD (Unit Load Device：航空コンテナやパレット) グループやGSE (Ground Support Equipment：地上機材)

グループ、米国のSAE (Society of Automotive Engineers) とLiaison (連携) を組んでいる。

幹事国はFranceである。議長は、米国で、副議長及び事務局はFranceである。

メンバーには、投票権のある「P」(Participating Countries：2015年現在12カ国) と参加資格の「O」(Observing Countries：2015年現在14カ国) とがあり、日本は「P」メンバーである。

今回のISO TC20/SC9 Plenary Meetingで、スペインが「P」メンバーになる予定である旨の発表があった。

3. ISO/TC20/SC9参加の重要性

当会議への参加は、標準化への提言や、他国（航空先進国）の状況把握などで、これらの国々からの遅れをとらないため、日本としては欠かすことができないことである。

4. #40 ISO TC20/SC9 Plenary Meetingへの参加者とその組織団体

表1参照



写真1 会議風景

表1 参加者及び組織

#40 ISO TC20/SC9 Plenary Meeting / Montreal/Canada IATA Office (2015/11/3 to 2015/11/5)					
	Position	Name	Nation	Organization	Remarks
1	Chair	Mr. Jack W. Springer	USA	Chair/ANSI/FEDEX	
2	Vice Chair	Mr. Jean Jacques Machon	France	Vice Chair/Consultant	
3	Secretariat	Mr. Karim Benmeziane	France	BNAE/AFNOR	
4		Mr. Hideo Abe	Japan	JISC/SJAC	
5		Mr. Kristofer Proll	Germany	DIN	
6		Mr. Urs Wiesendanger	Canada	Air Canada	
7		Mr. Diego Alonso Tabares	France	Airbus	
8		Mr. Anders M. Olsen	Sweden	Sweden : GSE Manufacture	SAFEAERO
9		Mr. Sven Radhe M.Sc.	Sweden	SIS, Swedish Standards Institute	
10		Mr. Marjan Smole	Slovenia	GSE Manufacture	
11		Mr. Peter Looker	USA	SAE AGE-2A : SATCO	
12		Mr. Steve Savage		IATA Manager of GSE Group	
13		Mr. Adriaan Gerritsen	Netherlands	SAE-AGE G12Group	WG-1/De-Icing

5. 議事内容

(1) SC9 Chairmanship

現在Mr. Jack W. Springer(USA)がChairmanになっているが、基本的には、3年/3回（合計9年）の規定があるが、適任者がおらず、再任された。これにより、あと3年務めることになる。そのあとは継続できないので、それまでに後任者を選ばねばならない。

(2) Interface with ISO TC20 SC17 On Airport Infrastructures

DINの参加：SAEのGroupの参加やIATAのGroupの参加も必要との提案があった。なお、次回の国際会議はBrazilで開催予定：内容：Runway Light, Taxi-way Light, Hi-Speed Taxi等について議論の予定。

(3) Membership update

SpainがOメンバーからPメンバー、SloveniaがPメンバーからOメンバーになることになった。

(4) IATA Ground Support Equipment and Environmental Management Group (GSEE) and ULD Technical Panel liaison Report

IATAのMr. Mr. Steve SavagenよりAHM (Aircraft Handling Manual, IATA作成) の説明報告があった。

ULD Technical Regulation ReportはAir CanadaのMr. Urs Wiesendangerが報告した。

AHMにおいて、主にAHM905で呼び出される規格等の改定コードの削除提案について方針は了解された。これにより、引用規格は常時最新版となる。

Cross-reference list of standards for air cargo and ground equipment (N1545) の報告があった。

(5) Information exchange between TC20/SC9 and CEN TC274.

FAAでは新規TSOを準備中：ISO 6966-2 (Aircraft ground equipment - Basic requirements - Part 2 : Safety requirements) を含めた新TSO C90eに、Fire Resistant Containerを含める予定。CEN TC274も同様にする。

(6) APPROVED WORK ITEMS

①ISO 21100, Air cargo unit load devices - Performance requirements and test parameters.

このDocumentは、ISO 8097/NAS3610 Rev.10から、内容を簡素化し、修正を加えたもので、SAE AS 36100と同等である。

SAEからの推奨でBase Materialの強度要件の変更などで、2016年12月にRevisionが発行される予定(現在CD21100となっている)。特に、K-SizeのContainerのBase Edge部分の強度要件が、BoeingとAirbus社の固定方法(Boeingは数個まとめて固定、Airbus社は1個1個、個別に固定されて貨物室に搭載)が異なる(Boeingの機体は2箇所固定、Airbus社の機体は1箇所固定)関係で、ISO 21100のClause 4.10.3~4.10.4部分等の改定が必要になる。

その他、20ft Pallet Test方法も変更される。

②ISO 6517 - Air cargo - Certified lower deck containers - Design and testing

SAE AGE-2A Memberと内容調整が必要である。

③ISO 4118 - Air cargo - Non-certified lower deck containers

ISO 6517 (Certified lower deck containers -- Design and testing) とISO 4118と殆ど違

いがないので、将来Mergingする可能性があるかの質問に対し、Vice Chairから、TSO取得の違いなどがあるため分ける必要があるとの回答があった。

④ISO14186 - Air cargo-Fire containment covers - Performance and testing requirements

シンボルのマーキングは承認されたので、Testing Methodを作成し、SAE AGE-2Aと調整の上、Revisionを進める予定である。

⑤ISO/FDIS 19281 - Air cargo - Fire resistant containers - Performance and testing requirements

USAやその他から修正意見が出ているが、文言の修正程度で、ほぼ承認段階である。Technical matterの修正要求はない。

⑥ISO/NP 20291-1 : Air cargo - Restraint slings - Part 1 : Design and testing

この基準作成には、Expertが必要で、Chinaの参加が望まれている(今回欠席)。UKやUSAからも参加の意向がある。

(7) TC20/SC9 WG 1 - De-icing and anti-icing

隣接する会議場でSAE G12 (De-icing/anti-icing) 委員会が会議を開催しており、そちらにも出席していたNetherlands (KLM) の代表が以下について発表した。

Working Group 1 report, ISO 11075 - Aircraft - Deicing / anti-icing fluids - ISO type 1, ISO 11076 - Aircraft - Deicing / anti-icing methods on the ground, ISO 11077 - Aircraft ground equipment - Deicer -Functional requirements, ISO 11078 - Aircraft - Deicing / anti-icing fluids - ISO type II, III and IV, Regulatory authorities information

(8) TC20/SC9/WG 2 - Airworthiness

①Unit Load Devices general projects

現在、ULD試験時のCenter of Gravityの

位置の修正を検討している。

②Cargo pallet nets continuing airworthiness (N1539)

SAE AGE-2のDocument AS 36102との関連で、内容を合わせるように検討する。UKが、Netの耐用期間の問題を検討している。

③Cargo stopper

Pallet netと同等にFAAではTSOに入れるべく検討している (SAEではAS 6554として制定されている)。IATA ULDR 60/3が改定されたので、変更内容を反映させることを検討する。

④Tie-down fittings testing methods

Tie-down fitting (Double Stud:5,000lb)のテスト方法も加えることをUKとFranceで検討している。

⑤Regulatory authorities Information

Fire Containment Cover (FCC) について検討している。

(9) CONSIDERATION OF POSSIBLE WORK ITEMS FOT TC20/SC9 WORK PROGRAM - PROPOSALS FROM THE DELEGATIONS

①ISO 8058 - Air cargo - Insulated containers - Thermal efficiency requirements

SAE AGE-2A/IATA ULDRのグループが検討中である。その結果を以てISO化し、SAEとのharmonizeが可能となる。

6. NEXT SC9 MEETING

今回は、米国で行う。世話人は、SATCOのMr. Peter Lookerで、時期は2016年5月頃になる予定である。

7. 感想

本SCへの参加は、我が国の意見を国際規格として、また、米国団体規格、欧州規格とのharmonizationを取ることができる貴重な機会であることを改めて感じた。今後はより多くの年齢の若い関係者、特にエアラインの方の積極参加を期待する。

[全日本空輸OB 安倍 秀夫、(一社)日本航空宇宙工業会 技術部部長 藤貫 泰成]

